

山中竹春横浜市長が 『国際・オープンデータ・デー 2022@横浜』に 横浜市長として初めて参加しました

平成24年（2012年）から、世界各国の都市で同時開催されるオープンデータ・デーは、今年で10回目を迎えます。

この世界規模で開催される「国際・オープンデータ・デー 2022@横浜」に、山中竹春横浜市長が参加しました。「若者が進めるデータ活用・オープンイノベーション」等のプログラムの中、開催にあたっての開催都市首長としての挨拶と横浜市が進めるDX戦略についてスピーチを行いました。

横浜市長の参加は今回が初めてとなります。

なお、山中市長は、横浜市立大学の教授としてこれまで3回参加し、今回が4回目となります。

1 市長挨拶

- ・市長就任前に、横浜でのオープンデータデーに参加したことがあります。あらゆる世代、多様なバックグラウンドの参加者が熱心に対話されていたことを覚えています。本日のイベントでも、データ活用、オープンイノベーションの更なる推進に向けて、参加者の皆様の活発な議論が交わされることを楽しみにしております。
- ・横浜市は全国の自治体に先駆けて、オープンデータに関する施策を次々と打ち出してきました。平成29年、全国初となる「横浜市官民データ活用推進基本条例」を制定し、翌年には「横浜市官民データ活用推進計画」を策定しました。今年1月には、この計画を引き継ぎ、「横浜DX戦略」の骨子案を公表しました。
- ・より多くの市民の皆様に、デジタル技術の利便性を実感していただけるよう、少しでも使いやすい形に進化させていくこと。それを、「デジタル×デザイン」というキーワードに込め、横浜ならではのDXを創り上げていきます。
- ・本日お集まりの皆様をはじめ、多様な主体の皆様との連携のもと、データとデジタルテクノロジーを駆使し、直面する様々な課題を乗り越えていきたいと思っております。

2 参考／開催概要

- (1) 日時： 令和4年3月5日（土）10時～19時
- (2) 方法： 完全オンライン開催（配信拠点：情報科学専門学校）
- (3) 対象： オープンデータ、官民データ活用、オープンイノベーションの推進に関心のある企業、研究者、NPO、学生、エンジニア／Civic Tech等
- (4) 主催： 横浜オープンデータソリューション発展委員会、Code for YOKOHAMA
- (5) 後援： 横浜市政策局、横浜市デジタル統括本部
- (6) 協力： 情報科学専門学校、一般社団法人YOKOHAMAリビングラボサポートオフィス、ハーチ株式会社、NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ

お問合せ先

政策局共創推進課長	小池 道子	Tel 045-671-4394
【イベント主催者】	横浜オープンデータソリューション発展委員会	
	杉浦 裕樹	Tel 090-3497-1468 / 045-664-9009